

指導者向け



S S
A A
M M
P P
L L
E E



目

アンサンブルレッスン指



みんなの発表会
ディズニー・アンサンブル
「ミッキーマウ」



みんなの発表会
スタジオジブリ・アンサンブル
「となりのトト
「さんぽ」にチ



みんなの発表会
こどものうた・アンサンブル
「勇気 100%

アンサンブルレッスン指



みんなの発表会
クラシック・アンサンブル
「行商人(コロブ)

S S
A A
M M
P P
L L
E E



アンサンブル 熊谷

発表会でアンサンブルをやってみたいと
ソロ演奏だけではなく、もう1回は参加
楽しみが増えますし、次の出番まで緊

アンサンブルは1人で
それでいてお友だちといっしょに合わせて、
それは、ピアノソロで

また、みんなで合わせる演奏なので、
何より生徒の耳を育

小さいうちにこのような経験をし、
ピアノ・レッスンの
ひいては教室全体の一体

発表会にピアノ以
ちょっとした演出
“演奏者もお客様も楽しめる”



S S
A A
M M
P P
L L
E E



アンサンブル

1 選曲

子どもたちが知っている曲は取り組みやすいから曲を決めましょう。鍵盤楽器の部分をビデオや難易度などを考えながら、みんなが笑顔で演奏できる曲を選びましょう。

2 本番までのレッスン・スケジュール

本番から逆算して、リハーサル日、合奏練習日、リハーサル前の合わせ練習をいつ、何回やるか、どのパートが演奏できるようになるのかを想定します。

●スケジュール表の一例

2カ月前	1カ月前	直前
レッスン4回	パート別合奏練習	当日

3 練習用音源作り

もし可能であれば、少しだけ生徒さんやお友達と一緒に練習しましょう。本番のイメージもしやすく、より楽しめます。

① 模範演奏

最初から本番のテンポで演奏するのは難しいです。
「ゆっくりバージョン」
「中位バージョン」
「本番バージョン」
のように、いくつかのパターンがあると、無理なく練習できます。

S S
A A
M M
P P
L L
E E

② パート別の録音

自宅での練習に便利です。

●鍵盤楽器パートの録音

メロディーの担当ではないところは、ピアノでい音で録音してあげるとよいでしょう。

●パーカッション・パートの録音

「メロディーとカスタネットだけ」というように習しやすいです。

発表会の練習期間は、ソロ演奏の練習が大変ならないように進めていくことも大事です。生徒

Point!

うまくいかないときは…

音源作りをしていくと、自分の生徒に実際にレッスンが始まってみると、うそいったときは、必ずしも楽譜通りの者が手を加えていくことも必要です。

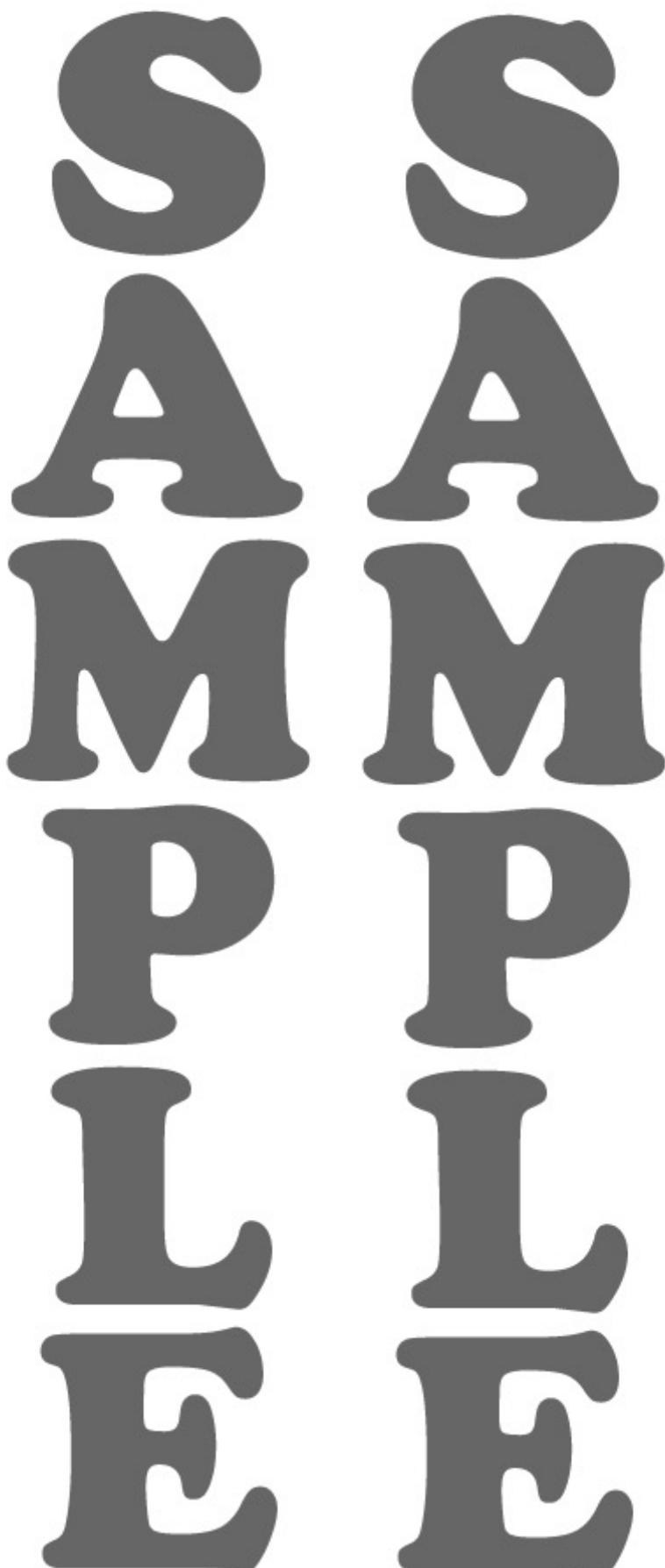
鍵盤楽器パートで難しい部分があったらもらってもよいと思います。
リズム・パターンが複雑でたたけない生徒のレベルに合わせることで、演奏も

音源を作りながら、またはレッスンしことも、指導者としてやるべきことの

★4 宿題の出し方

基本的には、レッスンでいっしょに行ったことがあります。

そのときに活躍するのが音源です。音源を渡しで大変便利です。





みんなの発表会 ディズニ

「ミッキーマウス・マ



「ミッキーマウス・マーチ」は年代を問
それほど長くありませんので、取り組

鍵盤楽器3人とパーカッション2種類
生徒の人数が多ければ、パーカッショ

今回は、鍵盤楽器・パートを鍵盤ハーモニコとタンブリンを使うことにします。

ミッキー
Mickey
Words and

小節番号
♩ = 120 元気よく

I II III

※6 ミッキーマウス ミッキーマウス

※12 ミッキーマウス ミッキーマウス

カスター タンブリン

リハーサル・マーク
5 A

© 1955 by WALT DISNEY MUSIC COMPANY
Copyright Renewed. All Rights Reserved.
Print rights for Japan administered by YAMAHA MUSIC PUBLISHING CO., LTD.



S S
A A
M M
P P
L L
E E



S
A
M
M
P
L
E

S
A
M
M
P
L
E

34

38 E

※13 Aと同じ

42

※13 メロディーを聴いてタイミングを覚

S S
A A
M M
P P
L L
E E



★1 メロディーをチェック

メロディー・パートがIやIIIに移動しますのでりやすくなります(P.6 ※1)。

★2 音出し、指導ポイントのチェック

パート別にそれぞれの楽器で演奏して確認して特に、鍵盤ハーモニカの場合、ピアノと違っておきましょう(P.6 ※2)。息の使い方など、音

Point!

鍵盤ハーモニカの低い音は、高い音よりパートをお願いするほうがよいかも

IパートCの8小節間は、動きがあって少し逆にそういうところがいちばん華やかで、良い

また全体を見て、強弱や臨時記号などの気になきましょう。

★3 パート分け

●鍵盤楽器・パート

3つのパートに分かれているので、生徒が3人メロディーが多いパートがわかりやすいので、れません。

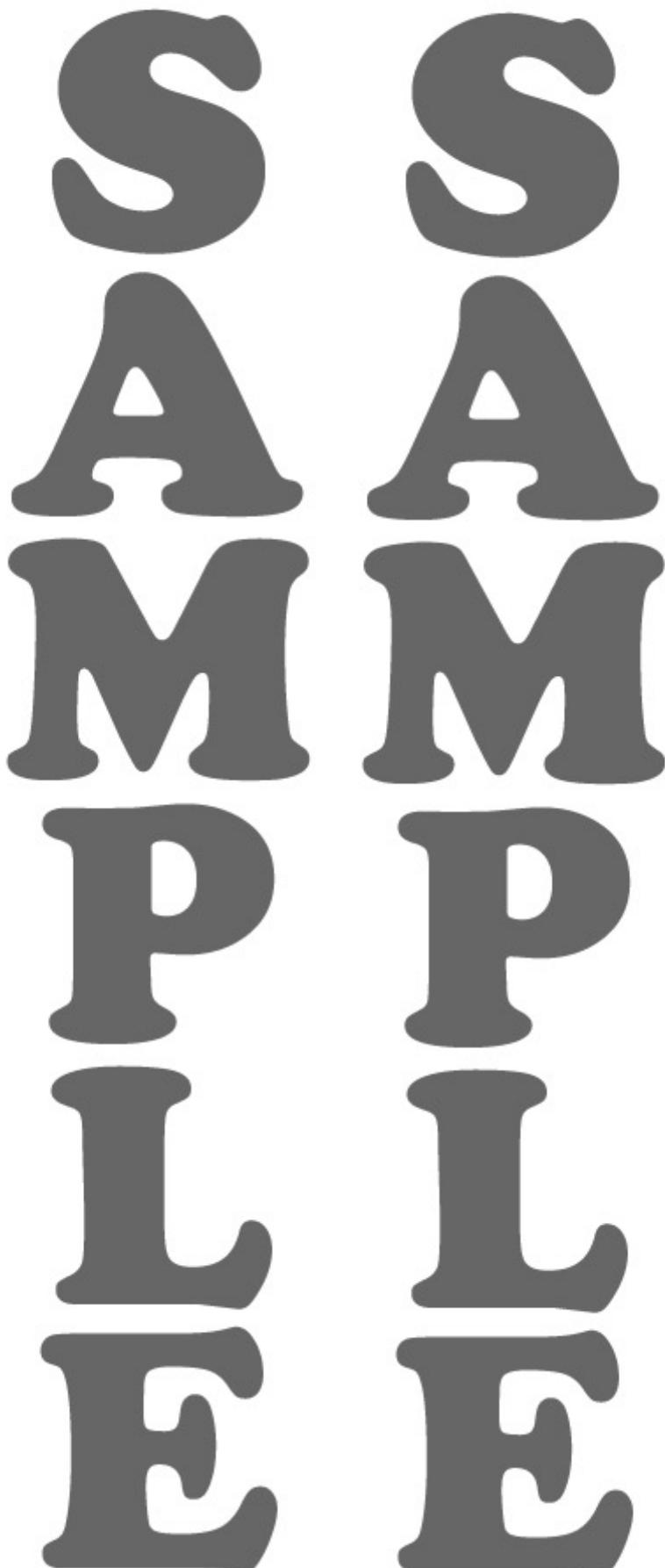
4人以上いる場合はパート分けをします。それいきます。

Point!

先ほどチェックしたCのIパートの
けIIIパート(メロディー)を演奏しても
Cの部分はIIIパートがf、I、IIパートもちょうどよくなります。練習しな

●パーカッション・パート

生徒が2人いれば演奏可能です。数人いると、も参加しやすいパートです。





★ 導入の仕方

最初のレッスンでは楽譜を見てもらいながらましょ。

ここではまず「できたら楽しそう」、「自分もが大事です。全体のイメージがわかると練習

Point!

1回が30分の個人レッスンの場合、ので、効率よく進めていくことが重



鍵盤ハーモニカ

鍵盤ハーモニカで同音連打をするとき(切る)ように指導しましょう。

Lesson ① イントロ・A

まずは楽譜を見ながら階名(ド音符を指でさしてあげてもよい上手に歌えるようになることが

鍵盤ハーモニカ I

イントロは4小節全部が同じこえるようになったら、ゆっくり

Point!

歌うときのリズムの取「ソーソー」ではなく※6)。

1拍目と4拍目で手をムになります。

鍵盤ハーモニカ II

イントロは「ミ」と「ファ」だけAは音符をいつしょに確認し、ゆっくり弾いてみましょう。

S S
A A
M M
P P
L L
E E

鍵盤ハーモニカⅢ

イントロではバスを担当します。
低い音は息がたくさん必要です。
ないので、4小節間息が続かない、
Ⓐもしっかりリズムをとるように

Point!

曲を知っているので、
うかもしれません。宿
とをしっかり伝えます。

Lesson ② Ⓑ・Ⓒ

前回のレッスンの確認をします。
かどうかが重要です。できていた
ルの楽しさを必ず味わってもらい
を前回同様、いっしょに練習しま

鍵盤ハーモニカⅠ

Ⓑが歌えるようになったら、最初
に入るタイミングを覚えましょう(F

Ⓒはこの曲のいちばん難しいとこ
ブレスの場所はあらかじめ指示し

鍵盤ハーモニカⅡ

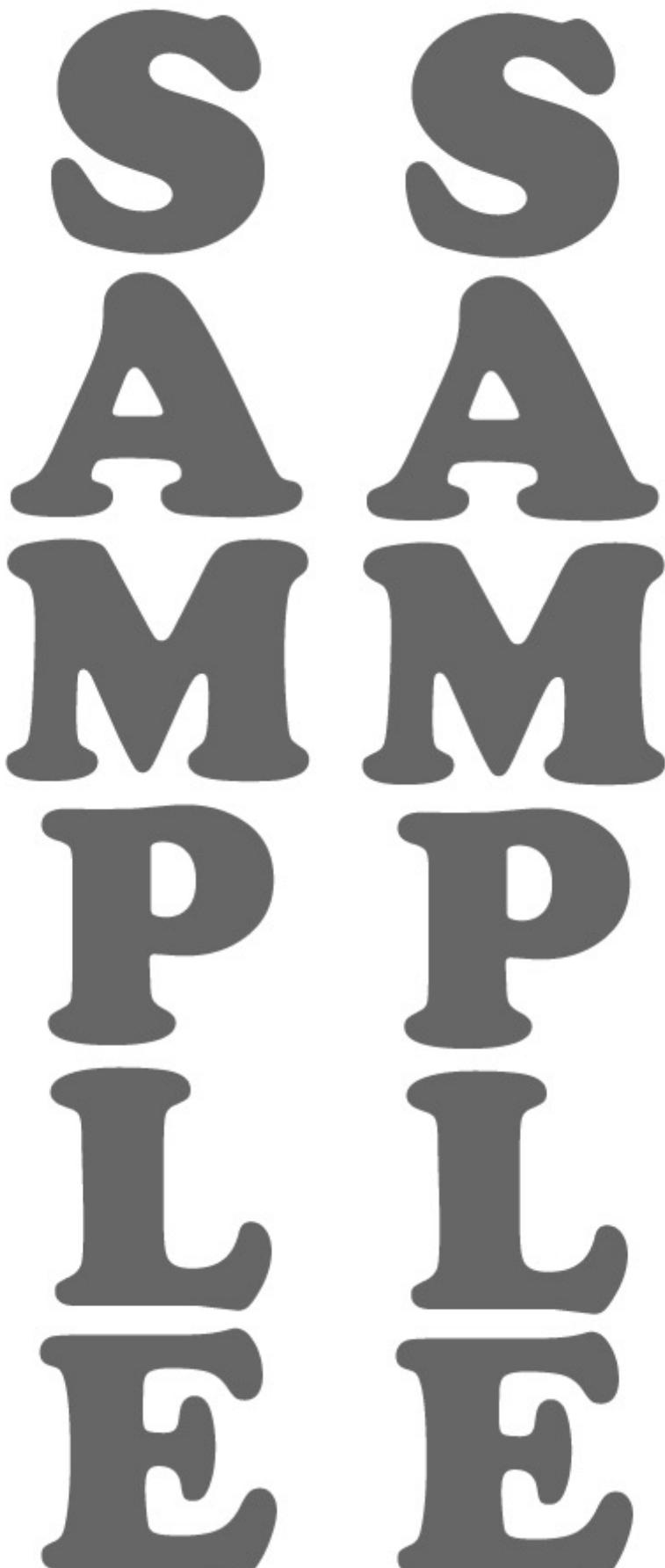
Ⓑの3小節目からのフレーズ(16

Ⓒはやはりこのパートのいちばん
な曲になるからがんばろうね！」
てください。臨時記号とブレスの

鍵盤ハーモニカⅢ

Ⓑの最初(14~17小節)はメロテ
で、メロディーに合わせられるよ

Ⓒはメロディーですから、元気
しょう(P.7 参照)。



Lesson ③ D・E

前回のレッスンの確認をしてか
難しいので、確認に少し時間が
かかる。

鍵盤ハーモニカ I

Dはメロディーです。また、E
はあと少しです。

鍵盤ハーモニカ II

Dの最初(30~33小節)はメロ
ディー。

後半(34~37小節)はBの後半

Eの最初(38~41小節)はAを
確認しながら練習しましょう

鍵盤ハーモニカ III

Iと同様に、Dの最初(30~33小
節)はメロディーです。後半(34~37小
節)はBの後半

Eの最初(38~41小節)はAを確認
しながら練習しましょう。

S S
A A
M M
P P
L L
E E

Lesson ④ F

前回のレッスンの確認をしてか
かる。全体の演奏の中でタイミング

鍵盤ハーモニカ I

Aと同じメロディーです。

鍵盤ハーモニカ II

Fの最初(46~49小節)の音が
かりやすいでしょう。次の4小節

鍵盤ハーモニカ III

Fの5小節目からの4小節(50~53小
節)は、全体の演奏の中でタイミ

Point!

譜読みのレッスンでは、
て、アンサンブルの楽し
「よくできたね！ 楽しい

Lesson ⑤ 鍵盤ハーモニカ・パートの

鍵盤ハーモニカ・パートが集まれる
くり、ずれないように、指導者が

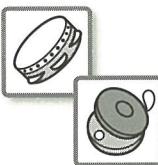
ここでパートごとのバランスにも
さや休符の入れ方も合わせていき

たとえばEの後半(42~45小節)
8分休符の組み合わせが出てきま
と、よりきれいなアンサンブルに

Point!

アンサンブルでは、1人
えて、どこからでも入れ
からリハーサル・マーク

S S
A A
M M
P P
L L
E E



パーカッション

上段と下段、2種類のリズム楽譜があり
プリンで演奏してみようと思います。

カスタネット

Lesson ① イントロ・A

まずは、[パターン1] と [パターン2] の2つ
てみるとやりやすいです。歌詞を入れてみて

譜例1

[パターン1] パターン1 [パターン2] パターン2

カスタネット タッ カタン タッ カ
タンプリン 1 6 f | 8 : | 5 |

[パターン1] パターン1 [パターン2] パターン2

カスタネット タッ カタン タッ カ
タンプリン 5 | 8 : | 5 |

イントロは [パターン1] を4回くり返しまで
(13小節) は、[パターン1] と [パターン2] の

Lesson ② B・C・D

前回のレッスンの確認をしてから、B・C
(17小節) は [パターン1] なのですが、タイ
ラ練習します。

譜例2

B

14

(パターン1)

S S
A A
M M
P P
L L
E E

次の4小節(18~21小節)は〔パターン1〕と、

譜例3

〔C〕はお休み。〔D〕は〔B〕と同じです。

Lesson ③ EとF

前回のレッスンの確認をしてから〔E〕と〔F〕をい
〔E〕は〔A〕と同じですから、すぐにできますが、
ください。

譜例4 [E]

〔F〕最初の4小節(46~49小節)はにぎやかにひ
〔F〕の最後(54~57小節)は、鍵盤ハーモニカ・ノ
う。

Lesson ④ 通し練習

全体を通して確認します。指導者が鍵盤ハーモニカを楽しみましょう。

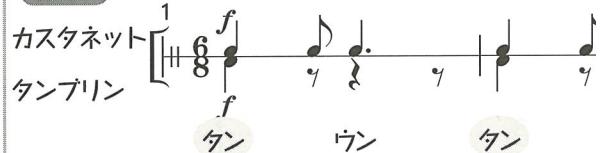
S S
A A
M M
P P
L L
E E

タンブリン

Lesson ① 4小節のパターンを覚え

タンブリン・パートは、イントロから[A]まで練習すると小さな子も覚えやすいですし、

譜例5



Lesson ② [B]の練習

前回の確認をしてから[B]をいくのが早いと思います。×タイミングを覚える練習をしま

Lesson ③ [E]と[F]の練習

[C]と[D]は[A]と[B]と同じですします。

[E]の前半(38~41小節)は[A]います(P.8 ※13)。ここも指覚える練習をしましょう。

[F]は最後で、いちばん盛り上をかけてにぎやかに演奏しまし

Point!

この変化が難しい場
裕が出てきたら楽譜通

[F]の最後(54~57小節)はメ
15)。

S S
A A
M M
P P
L L
E E

Lesson ④ 全体を通して練習

指導者が鍵盤ハーモニカ・パート
アンサンブルを楽しみましょう。

Lesson ⑤ パーカッション・パートの

各自ができてきたら、リズム隊だ
最初は他の音が入ると自分のリズ
方などに協力をお願いするとよい
ながらたたいてもらうだけで、か

Point!

一気に全部合わせるので
ずつ分けながら練習して

全員合奏練習

Lesson ⑥

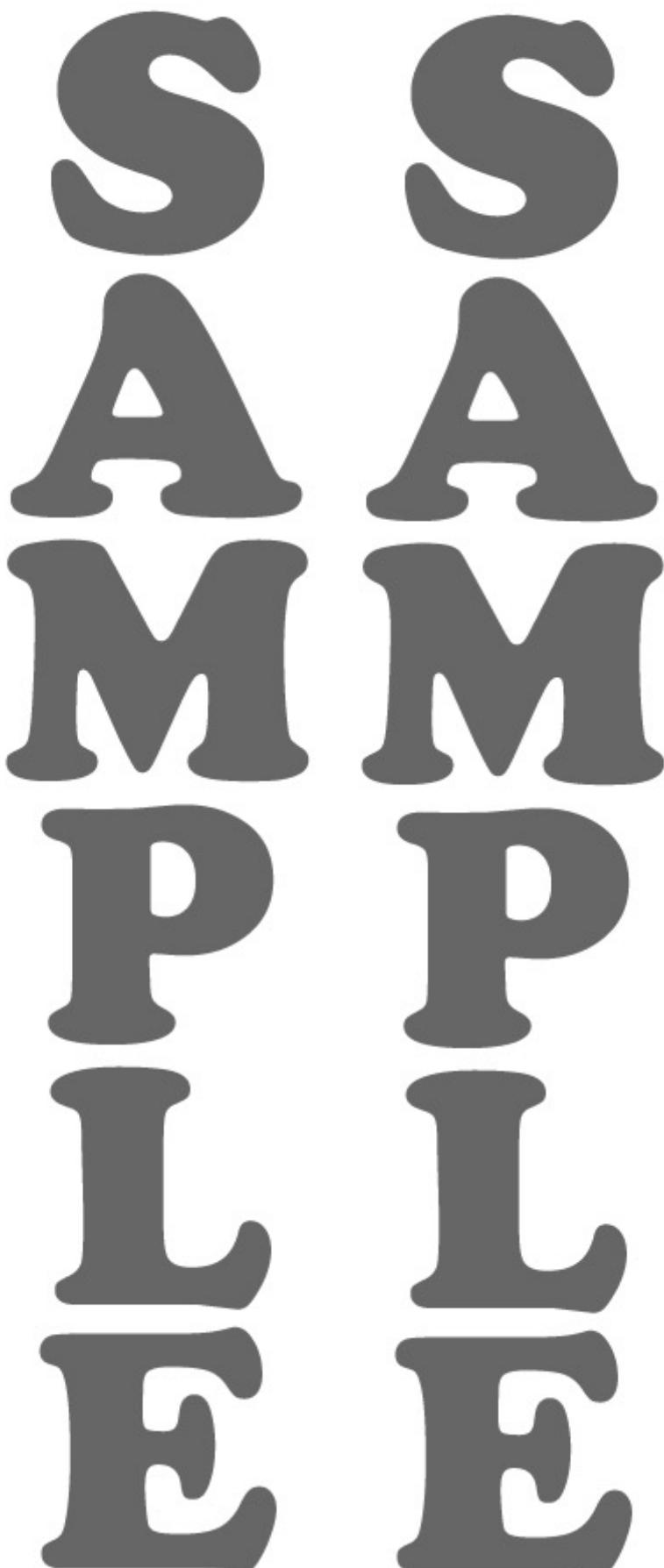
いよいよ全員での合奏練習です。
いはずです。

最初はゆっくりテンポをとってく
きな音が出る楽器を使ったりする
れたりすることなく、最後まで全

次にメロディーがしっかり聴こえ
テージとでは聴こえ方が違うので
す。

Point!

“メロディーがよく聴こ
ンスをどうとるかは、強
あるとおもしろくなりま



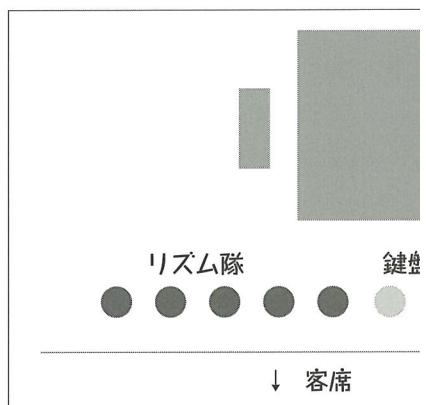
Lesson ⑦ 事前リハーサル

●立ち位置の確認

いよいよステージ・リハーサルたほうが合わせやすいので、鍵思います。

全体の立ち位置やバランスなどができると、本番の演奏がより生徒も少し緊張して本番のよう

●配置図



●演奏の始め方

最初の音から自信をもって演奏

Point!

見せ方の工夫

じっと動かずに演奏を
でしょう。
これも練習のときにや
練習やリハーサルの
ながらリズムを感じる

S S
A A
M M
P P
L L
E E

Lesson ⑧ 当日のリハーサル

いよいよ当日です。全体の流れの、楽器などの準備も含めて、できるほどを確認しましょう。

一度通して演奏し、マイクを通す♪

あとはみんなで、どれだけ楽しく♪

演出案プラス！

- ♪ ミッキーマウスの耳などをみんなでつけて♪
- ♪ 最後の音は全員がいっしょ。キメの音にな
拍手が起こりやすいやすいように終わるの♪
- ♪ 終わったらたくさん拍手をしていただくよ♪



S S
A A
M M
P P
L L
E E

S S
A A
M M
P P
L L
E E

保護者

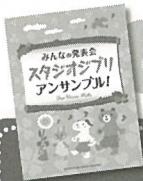
発表会の準備期間中は、普段より練習内容が多岐要ですので、保護者のたしておくと、指導者は大

次回までの宿題の確認なて、本番までの時間有

また、当日の演出で使うてくださる方がいると助げも、保護者の皆さんへ

そのためには普段から、取っておくことが大事で





「となりのトトロ」



★ 導入の仕方

みんながよく知っている歌です。まずは歌ってリズムにのって、歌うことが大事です。パソコンでは歌詞付きで出でていたりするので、それを利

Point!

リピート記号からどこに戻るのか、どう。わかりやすいように楽譜に色をつ

★ 宿題の出し方

本書P.5参照



鍵盤ハーモニカ

IとIIは同じような動きで、掛け合いのいくのがよいでしょう。

弾きにくいところは、あらかじめ指使いを

Lesson ① イントロ・A・B

自分の音を確認したらメロディーう。

イントロ後半(5~8小節)からAディーが両パートに順番に現れます。

S S
A A
M M
P P
L L
E E

譜例 1

Musical score example 1 shows three staves of music. The first staff starts at measure 18, featuring a treble clef, a key signature of one flat, and a 2/4 time signature. It consists of two measures of eighth-note patterns. The second staff begins at measure 23, with a treble clef, a key signature of one flat, and a 2/4 time signature. It features a measure of eighth-note patterns followed by a measure with a bass note and a treble note. The third staff starts at measure 28, with a treble clef, a key signature of one flat, and a 2/4 time signature. It includes a dynamic marking 'f' and a measure ending with a bass note and a treble note.

S S
A A
M M
P P
L L
E E

Lesson ② [C]・[D]

前回のレッスンの確認をしてが
[D]の前半(37~40小節)は[C]
後半との違いを確認しましょう

Lesson ③ 通し練習

ピアノで補足してあげながら、
合わせやすいパートを選んで弾



ピアノ

ピアノはI～IIIまであるので、3人で演奏します。弾きにくいところは、使い方あります。

Lesson ① イントロ・A・B

ピアノⅠ

イントロと[A]はメロディーなので弾きやすい
[B]は鍵盤ハーモニカのメロディーを補足しています。

ピアノⅡ

イントロはメロディーを聴きながらタイミング
[A]と[B]は重くならないように気をつけて、ス

ピアノⅢ

イントロはメロディーを聴きながらタイミング
[A]と[B]は8分音符のツブがそろいうように気を

Point!

ツブをそろえるコツ



ほんの少し重みをかけて、拍を感じて
それ以外の音は軽やかなスタッカート

Lesson ② C・D

前回のレッスンの確認をしてから[C]と[D]を生きと演奏したいですね。

S S
A A
M M
P P
L L
E E

ピアノ I

主にメロディーです。スタッカートは響かせ

譜例2

鍵盤
ハーモニカ
ピアノ I

28

29

f

f

f となりのト

ピアノ II

ツブがそろうように拍を感じて練習しましょ
ここも先ほどのように、ここに拍を感じて、



Cの1小節目のように、最後の音だけが変わ

譜例3

29

C

f leggiero

トット ロ(ン)ト(ツ)ト 一ロ

ピアノ III

しっかりきざみましょう。ただし、全部が同じ

ピアノ IIとIIIの43小節目は歌詞に合わせて！

譜例4

42

43

あ(な)たに

S S
A A
M M
P P
L L
E E

Lesson ③ ピアノ・パートの合奏練習

ピアノ・パートが集まれたら、全をつけ、タイミングを合わせましょう。

□はメロディーがきちんと聴こえ



グロッケン

イントロ、A、Bはお休みで、サビの音りしながらリズム良くしっかり練習をしま



ハンドベル

曲集では4人で演奏する方法が掲載され
合は、6人で演奏してもよいでしょう。こ

ハンドベルの使用音と音の割り当て

譜例5 奏者ごとに色分けをして、音符をぬって

奏者 I 黄色 奏者 II 青 奏者 III 緑 奏者 IV 赤

S S
A A
M M
P P
L L
E E

指導者用のパート譜

6パート全部を色分けしてぬっています。

A scanned page from a music score for handbells. At the top left is a small icon of two bells and the text "ハンドベル". The tempo is marked as "♩=120 リズムにのって". The key signature is one sharp. Measure 8 starts with a whole note followed by a half note. Measures 11 through 26 show various rhythmic patterns. Measure 27 begins with a dynamic "f". Measures 31 and 32 show eighth-note patterns. Measure 38 ends with a dynamic "mf".

ハンドベル
♩=120 リズムにのって
8
[A]
11
[B]
17
21
26
27 f
31
32
38
mf

S S
A A
M M
P P
L L
E E

生徒用のパート譜は自分の演奏する音だけが
う場合は、2色で色をつけてみるのもよいです

奏者Iのパート譜

譜例6 $\text{♩} = 120$ リズムにのって

自

8 A

13

B

17

21

mf

Point!

自宅練習の方法

練習用音源は、メロディーと自分だけ
ものを用意できると、自宅での練習が
自宅にはハンドベルがないと思いま
違えないように練習をしてきてもら
手を振るときに「ド」、「レ」などと階

Lesson ① イントロ・A・B

イントロはお休みです。Aは、
確認ができたら、しっかり数えな
次にメロディーをピアノで補足し
もピアノで弾いてあげて、どのよ

S S
A A
M M
P P
L L
E E

Lesson ② C・D

前回のレッスンの確認をしてか
いように気をつけましょう。

Lesson ③ ハンドベル・パートの合奏

ハンドベル・パートだけで一度
がら全員で演奏してみます。重
けましょう。

次に、メロディーをピアノで補

Point!

うまくいかないときは…

ハンドベルの音の数が多いので、な
場合は、音を少なくすることをオス
たとえば、[C・D]の2拍目、4拍目を
様子を見ながら、生徒の力に応じて：

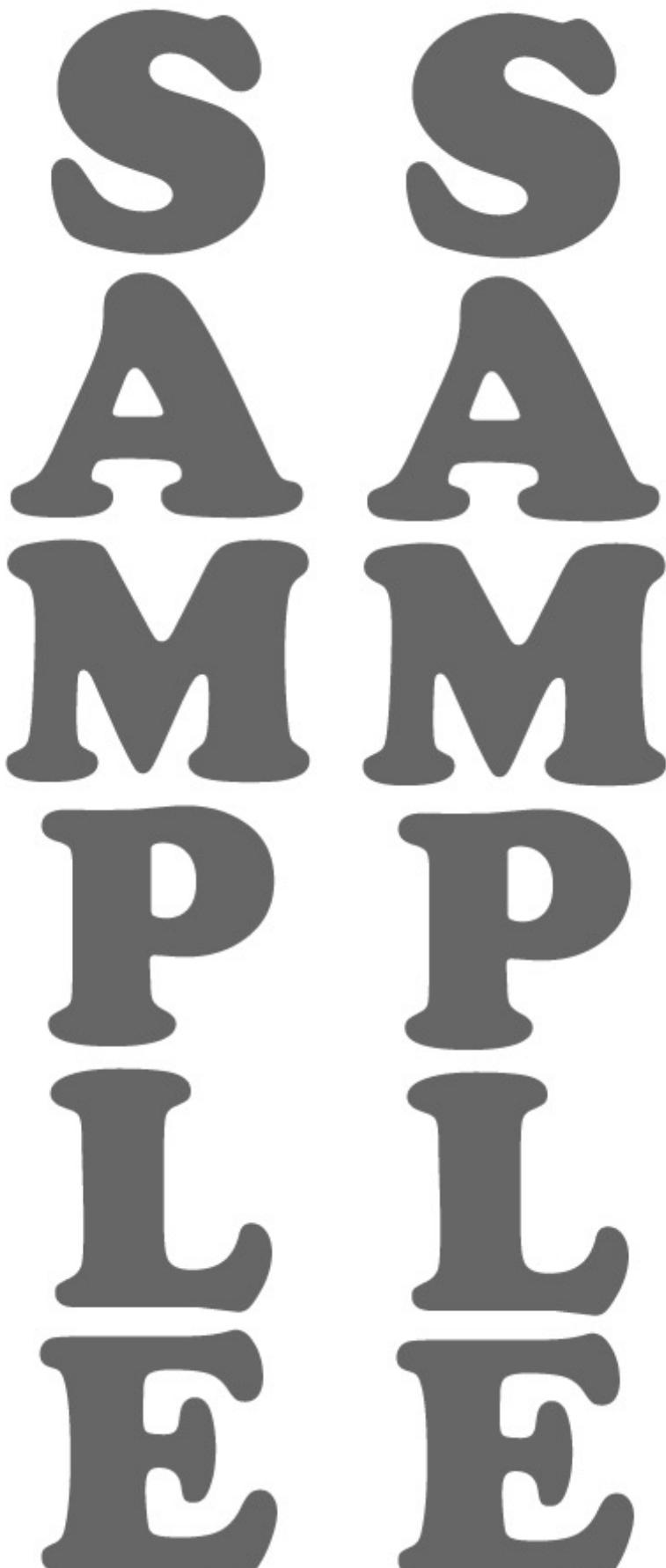
また、ハンドベルを入れなくても演
入れてみると華やかさが増します。
まずは、[A]と[B]だけでも入れてみ
もよいと思います。

全員合奏練習

Lesson ④

みんなで合わせてみましょう。
しよう。だいたいが合っていたら
バランスに気をつけて、“メロデ

この曲の最後は $rit.$ がかかり、弱
長さ、そして切るタイミングは、
ましょう。



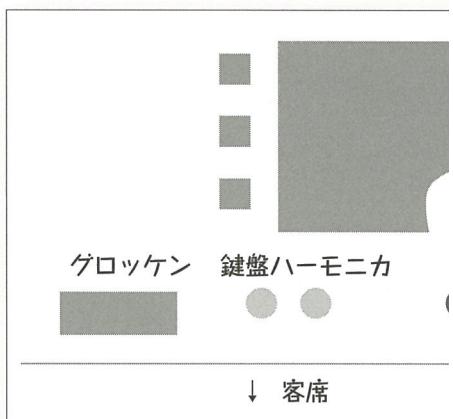
ステージ・リハーサル

Lesson ⑤ 事前リハーサル

●立ち位置の確認

いよいよステージ・リハーサルで
鍵盤ハーモニカとグロッケンが左
前後の位置はバランスを聴きなが

●配置図



●見せ方の工夫

本書P.18参照

当日のリハーサル

Lesson ⑥

いよいよ当日です。一度流れの中
器などの準備も含めて、できる限
特に、ハンドベルの準備は時間が
おきましょう。

一度通して演奏し、マイクを通す

あとはみんなで、どれだけ楽しく

S S
A A
M M
P P
L L
E E

演出案プラス！

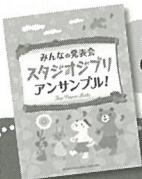
♪ トトロのぬいぐるみなどをピアノの上に
わいらしいステージになります。
メイちゃんのような、お下げ髪で麦わら
いですね。

♪ この曲は静かに始まり、Ⓐ、Ⓑ、その後
たら会場全体が盛り上がるよう、お客様
ておくのもよいでしょう。

♪ ハンドベルはⒶとⒷだけ入れて、Ⓒと
んに持ち替えて、にぎやかにたたいてみる

パーカッションに持ち替える場合は裏打を
さまもいっしょに手拍子しやすく、さらに
その場合は、あらかじめ、保護者の方に
からも、たくさんの拍手をいただくこと

S S
A A
M M
P P
L L
E E



みんなの発表会 スタジオジブリ

「さんぽ」に



導入の仕方

みんながよく知っている歌です。まずは歌ってなパーカッションとピアノでの合奏というのもんでもらいたいです。

Point!

リピート記号からどこに戻るのか、どう。わかりやすいように楽譜に色をつ

宿題の出し方

本書P.5参照



鍵盤ハーモニカ

パート譜（「みんなの発表会 スタジオジブリ・アンサンブル」）を練習するところはそれほど多くないことがわ

Lesson ① イントロ・A・B

階名でよく歌ってから弾いてみましょう。
いちばん重要なのは指使いです。生徒が弾きや

譜例1 指使いの一例

S S
A A
M M
P P
L L
E E

Point!

長い休みの間は、音楽にのって身

Lesson ② C・D

前回のレッスンの確認をしてか
Dはイントロと同じなので、[

Lesson ③ 通し練習

先生のピアノに合わせて、通し
パートを適宜抜き出して弾いて
たとえば、鍵盤ハーモニカがメ
キはメロディーを弾きます。
全体を通して聴かせることで、



ピアノ

ピアノはⅠ～Ⅳまであるので、4人で演
奏類あります。まずは、指使いをどうす

Point!

4人で演奏する場合

4人での場合は、立って弾くのが
小さい子であれば足台の数も必要
の前に立って演奏すると、見た目

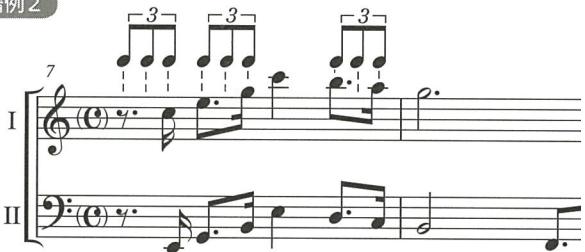
ただし、そのときは手首や指の角
状態で練習しておきましょう。

S S
A A
M M
P P
L L
E E

Lesson ① イントロ・A・B

I・IIパートの付点のリズムは、3連符のはず
うに、指導者は階名で歌ってあげましょう。

譜例2



IIIパートの3度がうまく弾けないときは、両手

譜例3



III・IVパートはノンレガートなので、どんなタ
メロディーを邪魔しないように軽めの音ではす

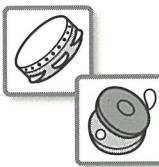
Lesson ② C・D

前回のレッスンの確認をしてから、
方に気をつけて、音符の長さをし

Lesson ③ ピアノ・パートの合奏練習

ピアノ・パートが集まれたら、全
をつけて、タイミングを合わせま
III・IVはI・IIより大きな音になら

S S
A A
M M
P P
L L
E E



パーカッション

リズム隊はタンブリンとカスタネットで、小さな生徒にお願いするとよいです。

タンブリン

4分音符(♪)と3連符(♫)と4分休のパターンです。この基本パターンの認して練習をしましょう。

タンブリンは手のひらではなく、できれいな動きで、手首を使うと美しい音でリズム良く演奏することができます。

Lesson ① イントロ・A

以下のパターンの組み合わせです。

[基本パターン] (c ♪)

♫が4拍目にある [パターン 1] (c ♪)

♫が2拍目にある [パターン 2] (c ♪)

♫がしっかり1拍に入るように練習をしま

譜例4 イントロ

タンブリン
カスタネット

[パターン]

[パターン 1]

S S
A A
M M
P P
L L
E E

Lesson ② [B]・[C]・[D]

前回のレッスンの確認をしてから、リズム・パターンが理解できたら
ます。

カスタネット

カスタネットは手のひらでたたくより、指
やかになります。



Lesson ① イントロ・[A]

♪と♪だけのリズムです。

リズム・パターンが理解できたらメロディーに：

イントロ (c ♪ ♪)

[A] (c ♪ ♪ ♪)

イントロ、[A]の最後 (c ♪ ♪)

Lesson ② [B]・[C]・[D]

前回のレッスンの確認をしてから、次のリズム

[B] (c ♪ ♪ ♪ ♪ ||)

[C] (c ♪ ♪ ♪ ♪ | ♪ ♪)

それぞれのリズム・パターンが理解できたら、

Lesson ③ パーカッション・パートの

リズム隊だけで一度合わせ練習を
て、しっかり演奏できるかを確認

S S
A A
M M
P P
L L
E E

全体合奏練習

Lesson ④

みんなで合わせてみましょう。
と思います。だいたいが合って
“メロディーがしっかり聴こえ
指示してあげましょう。

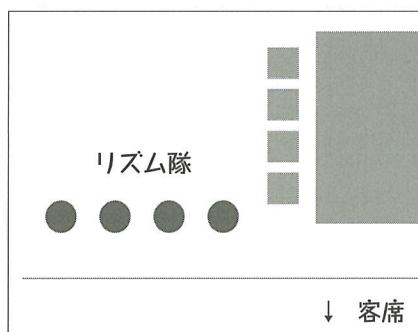
ステージ・リハーサル

Lesson ⑤ 事前リハーサル

●立ち位置の確認

いよいよステージ・リハーサル
ズム隊はピアノをはさんで左右
いたほうがよいでしょう。
リズムが聴こえにくいときは、
バランスを調整しながら決めま

●配置図



●見せ方の工夫

本書P.18参照

Lesson ⑥ 当日のリハーサル

本書P.19参照

S S
A A
M M
P P
L L
E E

演出案プラス！

♪ イントロは、鍵盤ハーモニカとリズム隊は
になりますね。ただし、Ⓐに入ったら定位

♪ 歌詞を会場のお客さまに配って、リピート
が生まれ盛り上がります。

♪ タンブリンやカスタネットは、最後の音で
た感じがお客さまにも伝わりますし、かわい
もちろん鍵盤ハーモニカやピアノの人も、
演出になります。



♪ **使用楽器と演奏ポイント**（「みんなの発表会」）

ここに掲載されているように、ピアノⅠを
気も変わっておもしろくなると思います。
リズム隊の人数が多くれば、トライアングル
るでしょう。

♪ もちろん保護者の方には、終わったらたく
とを忘れずに。

S S
A A
M M
P P
L L
E E



「勇気100%」



★ 導入の仕方

みんながよく知っている歌なので、指導者の方もお手本をつけておこないましょう。

5種類のパーカッション、グロッケンが入り、パターンが多いので、小さな子でもそれほどリピート記号があるので、演奏時間も長く、

Point!

リピート記号などを最初に確認します。
[1.] [2.]、D.S.とto Φ 、 Φ Codaなど、譜に色をつけておくとよいでしょう。

★ 宿題の出し方

本書P.5参照

S S
A A
M M
P P
L L
E E



鍵盤ハーモニカ

パート譜（「みんなの発表会 こどものうた・アン」）
また、DとEの6小節は同じですから、
全音符が多いので、スラーやフレーズのつづりを覚めておくのがよいでしょう。

Lesson ① 全部の音を確認

音が少ないので一度で最後まで読む。イントロの付点のリズムは指導者

Lesson ② 通し練習

前回のレッスンの確認をしてから
しましょう。



ピアノ

ピアノはI～IIIまであるので、3人で演奏します。
あります。練習の前に、まずは指使いを確認しておきましょう。

重音の部分（特に5度6度と開いているといふ場合があります。生徒に合わせて指示しておきましょう。

譜例1

I 右手

II

左手

This musical example shows two staves of piano notation. Staff I (top) starts with a treble clef, a common time signature, and a key signature of one sharp. It contains four measures: a quarter note, a rest, another quarter note, and a rest. Staff II (bottom) starts with a bass clef, a common time signature, and a key signature of one sharp. It also contains four measures: a quarter note, a rest, another quarter note, and a rest.

S S
A A
M M
P P
L L
E E

Lesson ① イントロ・A・B・C

AとBは最初の6小節が同じなので(* II パ
最後の2小節の違いを確認しましょう。
Cは曲調が変わる聴かせどころです。強弱譜

譜例2

譜例3

違いに注意！

Lesson ② D・E・Coda

前回のレッスンの確認をしてから、DとE
DとEは最初の6小節が同じです (P41 ※

リピート ([1.]) から Aに戻ることを確
りやすいように楽譜に色をつけておくとい

S S
A A
M M
P P
L L
E E

譜例4



ピアノI

♩=126 げんきよく

6 (8va) -

B

11 (8va) -

16 (8va) -

色をつける

C 21 (8va) -

26 (8va) -

31 (8va) -

※1 E

36 (8va) -

41 (8va) -

46

C へもどる

Coda

(8va)

51

mp D.S.

Lesson ③ ピアノ・パートの合奏練習

ピアノ・パートが集まれたら、全
をつけて、タイミングを合わせま

S S
A A
M M
P P
L L
E E



グロッケン

長く伸ばす音符が多いので、手首を脱力

Lesson ① イントロ・A・B・C

AとBは最初の7小節目が同じなので、最後

譜例5



Lesson ② D・E・Coda

前回のレッスンの確認をしてから、DとE
DとEは最初の6小節が同じなので、違う

譜例6



S S
A A
M M
P P
L L
E E



パーカッション

リズム隊はスズ、クラベス、カスタネット
小だいこは手に入れやすいタンブリン、
ドラムでも代用できると思います。

Point!

ロリポップ・ドラムもオーシャン・ド
場所を取らないのでオススメです！



ロリポップ・ドラム

Lesson ① リハーサル・マークごとに

まずはサビの[D]と[E]のパターンを練習しまし

譜例7

次にイントロと[C]とCodaを確認しましょう。
てあげながら、リズム・パターンを覚えていく

S S
A A
M M
P P
L L
E E

Point!

小さな子はリズム・パターンは覚え途中でずれてしまうことがよくあります。多少ずれてしまって

Lesson ② 全部のリズムを確認

他のパーカッション・パートを確認しておきましょう。できて生徒の様子を見ながら、無理な

Lesson ③ パーカッション・パート

リズム隊だけで一度合わせ練習パートがしっかり演奏できるか

全員合奏練習

Lesson ④

みんなで合わせてみましょう。
と思います。だいたいが合って
“メロディーがしっかり聴こえ
指示してあげましょう。

特に[D]に入る前のクレシェント
させて入れるように気をつけま
[D]と[E]はにぎやかに。そして
しよう。

S S
A A
M M
P P
L L
E E

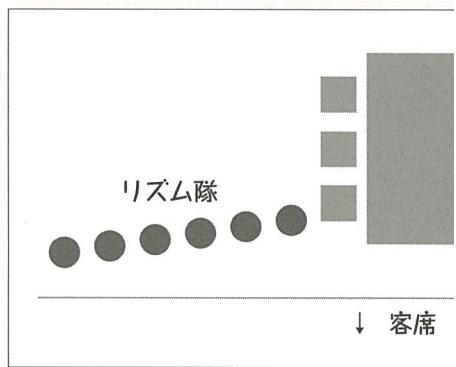
ステージ・リハーサル

Lesson ⑤ 事前リハーサル

●立ち位置の確認

いよいよステージ・リハーサルで
ロッケンはピアノの右側、リズム
人数が少ない場合は、まとまって
リズムが聴こえにくいときは、ス
バランスを調整しながら決めまし

●配置図



●見せ方の工夫

本書P.18参照

Lesson ⑥ 当日のリハーサル

本書P.19参照

S S
A A
M M
P P
L L
E E

演出案プラス！

♪ 元気に始まる曲なので、生徒が大きな声で演奏を始めてよいでしょう。

♪ □はピアノとグロッケンだけなので、リズムを左右にゆらして、楽しそうな感じ(いずれにしても、無表情で立ったまま)

♪ □は曲調が変わる大事な部分なので、少しだけ強めに。～28小節は□に向かうクレシェンドです。

♪ □からのスズ・パートのトレモロは、手拍子

♪ サビ(□・E)は会場のお客さまに歌ってもらおうでお願いすると会場との一体感が生まれます。歌っていただく場合は、歌詞カードをお渡し

♪ 最後のキメポーズはあらかじめ練習してください。ピアノと鍵盤ハーモニカも弾き終わ

♪ 楽器が多いので、ステージ上の準備に多めの時間が必要です。ハーサルのときに立ち位置や楽器の配置を確認しておくことが大事です。

S S
A A
M M
P P
L L
E E



中級にアレンジ！

この曲は音域がそれほど広くないので、
鍵盤ハーモニカやピアノの代わりにリコ-

<例>

リコーダーI イントロ：鍵盤ハーモニカ
A B : ピアノII
C D E : 鍵盤ハーモニカ

リコーダーII イントロ：ピアノI
A B C D E : ピアノI (1:

リコーダーを入れる場合は、音が他の楽器に比
ピアノは伴奏程度に留めて、リコーダーでメロ

人数が少なくてリコーダーのパート分けができ
にしてもよいと思います。

S S
A A
M M
P P
L L
E E

発表会の参考に

絶対成功する！ピアノ弾き
～やっておきたい50のこと～

(株)ヤマハミュージックメディア
■GTB01089477 ■定価 [本体1,700円+税]

S S
A A
M M
P P
L L
E E



アンサンブ
指導
有泉ク

頭の中では常に、生徒
理想のステージを
各々が能力を發揮し
ステージでの
お客様の高揚する
ただし、すべてをテ
また、完璧にはできないもの

そのうえで、理想に近
無理だと思
臨機応変にどんどん
成功する

S S
A A
M M
P P
L L
E E



アンサンブル

1 楽譜の分析とパート分け

楽器の編成と特徴を調べ、どの生徒に何の楽器を担当させるかを考える

2 曲のポイントを考える

いちばんの聴かせどころ、見せ場を考えまで、ステージで演奏している場面を想像して、立ちはだかるものは自分の頭の中でしっかりと理想のスタイル

3 レッスン方法

①個々のレッスン→②パート練習→③アンサンブル練習

①個々のレッスン

まずはしっかり弾けるようになることが目標

Point!

各段の楽譜を横に見ていく

これは、普段のレッスンでも行っていて、音符を読みながら拍を感じて、何があっても止まら

②パート練習

お互いの音を聴きながら演奏ができるように

Point!

楽譜を縦に見るよう心がける

同じ楽器群に分けて練習するのがいいがなかなか生徒が複数集まることは難しいが続いている2人だけでもかまいませんとを経験させておきましょう。

S S
A A
M M
P P
L L
E E

③合同練習

音楽をまとめることが目標です。

Point!

樂譜を縦横同時に見るように心がけよう

合同練習は、何回もできるわけではあるに、あらかじめ重点項目をしぼって

重 点 項 目

●演奏について

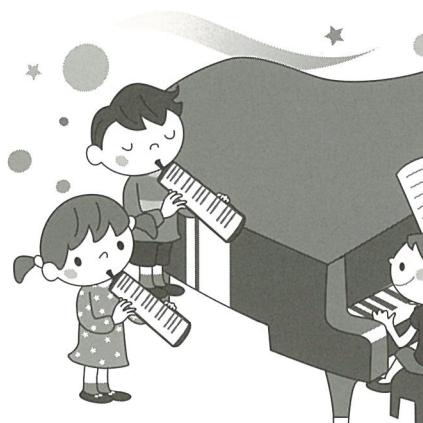
始めと終わりの合図の仕方、クライマックスの誰が主役（メロディー）で誰が脇役（伴奏）か、ましょう。

●まとめ役を決める

曲の始め方、終わり方、速度を変えるときのある程度は役割を決めておきましょう。指揮者がいる場合は問題ありませんが、小編成なりません。指揮をする、首を振って合図する

●立ち位置を決める

練習の前半は、ピアノを囲んで、できるだけ全



練習の後半は、ステージ上を想定した立ち位置が見えにくいこともあるので、それに慣れてお

S S
A A
M M
P P
L L
E E

●流れの確認

ステージへ出入りする順番、お辞儀の有無（など、一連の動きを練習しておくことも大切）

可能であれば、他の曲を演奏するメンバーも自分たちの演奏を冷静に判断する耳を養うこ

★ 本番当日

リハーサル

とにかく時間がないと心得ておきましょう。

●演奏者たちの動線確認

- ・舞台袖もしくは楽屋通路などに、ステージ
- ・楽譜、楽器を持っているかをチェック後、
- ・演奏後の下がる方向（上手・下手）、楽譜を

●立ち位置確認

- ・おおよその立ち位置に連れて行き、客席か
- ・立ち位置が決定したら、床にテープなどで念を押しておきましょう。

●演奏のバランス

- ・客席から音のバランスをチェック。バランスこともあります。

リハーサル後

●一言だけ声をかけておきましょう。

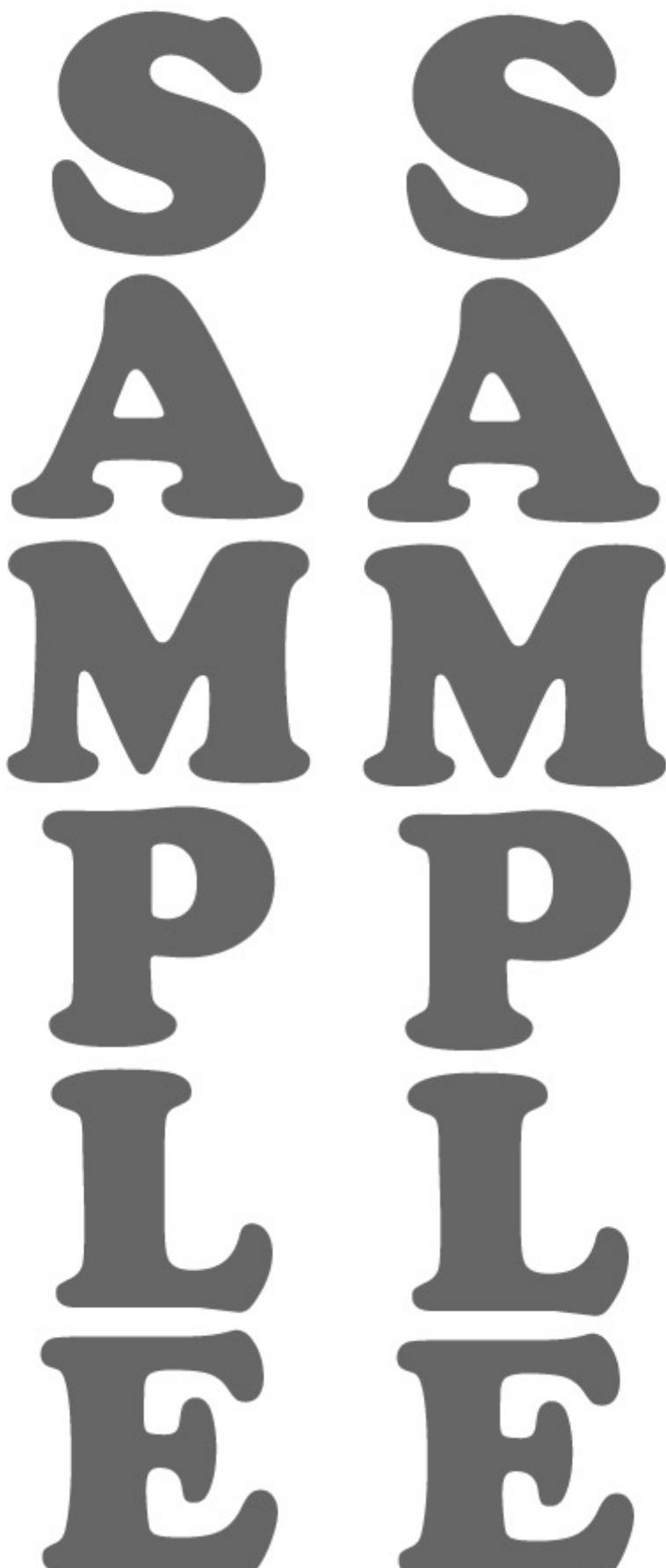
- ・細かいことは言わず、「はじめと終わりはヒリで演奏しよう。」など。

先生の“魔法の一言”が生徒を変えます。

本 番

●舞台袖に待機

- ・ハプニング（パーカッションを勢いよくたためるために待機しておきましょう。そして、



本番後

おつかれさまでした。後日のレッスンで感想を

☆発表会までに準備しておくもの

レッスンだけでも忙しいのに、発表会までは、作成、花や記念品の準備、写真やビデオ撮影のを挙げます。

頭の中にあることを可視化する

今まで幾度となくイメージしてきたステージのだけでは成り立ちません。お手伝いのスタッフの言葉で伝える時間はありません。そこで、“何”オススメします。

●配置図

アンサンブルを取り入れる場合は必須です。

楽器の配置(ピアノ、鍵盤ハーモニカ、ハンピアノの椅子(何脚出すのかなど)
譜面台、ピアノ足台の台数と場所など

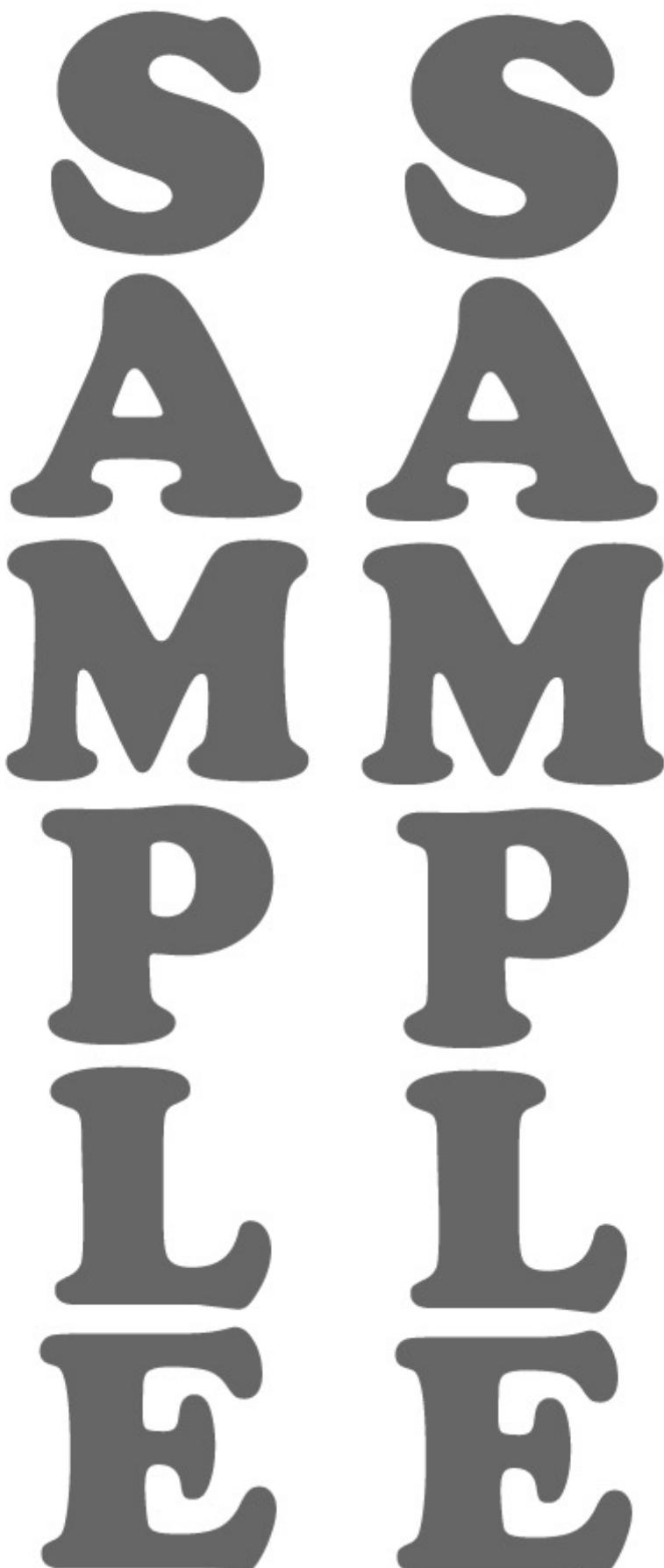
これらを図にして、曲ごとに書いておきます。
もその図を見て動いてくれます(P.62 参照)。

●スタッフ用タイム・スケジュール一覧

スタッフがこの時間は何をしているべきなのか

時間	9	10	11	12	13
先生	④ セッティング		リハ 立ち会い	昼食	開
スタッフ AB	④ セッティング		リハ 手伝い	昼食	演
スタッフ C		④ 昼食		受付	

次のページからは、実際の曲で指導の流れを紹





みんなの発表会 クラシック

「行商人(コロブチカ



★ 楽譜の分析とパート分け

1～8小節(a)と9～16小節(b)という2部形
コーダは(b)がくり返され終了します。



鍵盤ハーモニカ

□からはメロディーを担当します。1パート
演奏してもよいでしょう。

Point!

にぎやかな曲ですから、鍵盤ハーモニカ



ピアノ

ピアノⅠ

片手奏で□はメロディー、□からオブリガ

ピアノⅡ

片手奏で□はメロディー、□からは伴奏()
れます。

譜例1



S S
A A
M M
P P
I I
L L
E E

ピアノⅢ

両手奏で伴奏を担います。

Point!

ピアノは3人の連弾です。難易度の差をつけていきます。また、伴奏は音楽の土台を任せたいところです。



パーカッション

カスタネット、タンブリン、クラベスを使用し、手拍子がバランスも取れ、にぎやかになります。

Point!

表拍をたたくタンブリンと、裏拍をたたいてください。
クラベスは、楽譜上は簡単なように見えます。

以上のような点を考慮して、担当を決めます。

●行商人(コロブチカ)メンバー表

楽器	演奏内容	
ピアノⅠ	メロディー／オブリガート	
ピアノⅡ	メロディー／伴奏(バックing)	
ピアノⅢ	伴奏	
鍵盤ハーモニカ	—	メロディー
タンブリン	表拍	
カスタネット	裏拍	
クラベス	—	表拍

S S
A A
M M
P P
L L
E E

☆ 曲のポイントを考える

□ からの accel. がいちばんの聴かせどころで、メンバーの中で、どのようにテンポを速めてイメージをつかんでおきましょう（譜例2）。本番ではお客様にも手拍子で演奏を盛り上げかけて練習しておきます。

譜例2

$\text{♩} = 108$ にぎやかに

A リピート後 8 8

指導のイメ

C 25 (2nd time *poco a poco accel.*)

鍵盤ハーモニカが少しずつ accel. 開始。

30

36

... 加速 ...



Point!

衣装について

衣装は、そろえるよりも、バラバラロシアの民族衣装のイメージであるておくのもよいのでは？

S S
A A
M M
P P
L L
E E



③ レッスン方法

① 個々のレッスン

それぞれの能力や難易度などによりますが、1
つです。



鍵盤ハーモニカ

ブレスの位置を決めて書き込みましょう。子と

複数で演奏する場合は、カンニング・ブレス(メです(譜例3))。

譜例3

$\text{♩} = 108$ にぎやかに

8 A 8

2人目

20 V

S S
A A
M M
P P
L L
E E



ピアノ

ピアノ I

9小節、33小節の8分休符を正確に数えるよ
■からのオブリガートは、指広げがあるので

譜例4

17 [B]
I *mf*
II *mf*
23 [C]
 (2nd time)
1
III
IV
29 1
1
35 >
>

ピアノ II

9小節の8分休符を正確に数えるようにして
■は、2拍目のアクセントが大切です(譜例)

ピアノ III

■でリズム・パターンが変わるので、ここが
ベース(左手)が音楽全体を支えるので、ピア
にしておきましょう。

S S
A A
M M
P P
L L
E E



パーカッション

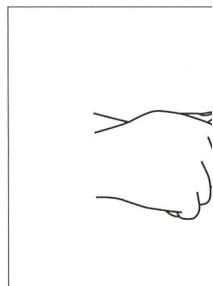
1回目のレッスンでは、楽器のどこをたたいたう。また、初めて触る楽器はたたき方の指導を

Point!

体全体を使って演奏する

どの楽器も、たたくことに集中するあちです。打楽器もピアノと同じようう。特に、膝をうまく使うことができ

※クラベスは両手を動かして打つと「火の用心」定し、右手で打つようにしましょう。



タンブリンもカスタネットも良い音(軽く、リレッスンを進めていきます。

Aは4分音符だけなので、8分音符を先生が補

譜例5



Bでリズム・パターンが変わるので、ここから意しておきましょう。

S S
A A
M M
P P
L L
E E

②パート練習

最低2、3回は複数の人と合わせる時間を作
トとパーカッション・パートに分けて練習を

●ピアノと鍵盤ハーモニカ

初めて違う楽器と合わせるのですから、とま
です。メロディー、伴奏、オブリガートのバ

●パーカッション

タイミングをそろえることに重点を置きます

③合同練習

本番前に、最低1回は合わせましょう。2回

まず一度、通して演奏しましょう。出だしは
らず最後まで。全体の雰囲気を知るために
その後、間違えやすい部分や、不安な部分を
きます。

ここまでに時間がかかるてしまうと、音楽と

●始め方

みんなから見えるピアノIが首を振って合図
るなど、いくつか方法があります。

この曲では、クラベスがカウントをとる方法

譜例5



S S
A A
M M
P P
L L
E E

●終わり方

みんなでビシッとキメたい終わり方。立って演
んで伝えると、キマる率が上がります。

Point!

役割を交替してみるのも重要です。得
から自然とまとめ役ができるとよいです

同じ流れで、*accel.*も、いろいろ試してみます
に任せてみてください。お互いに遠慮してほ
くしよう」と一声かけると、速くなりすぎて渾
がると思います。

自分たちが演奏可能で、聴いていて自然なテン

④ 本番当日

●リハーサル

①パーカッション（クラベス、カスタネット、
並ばせましょう。

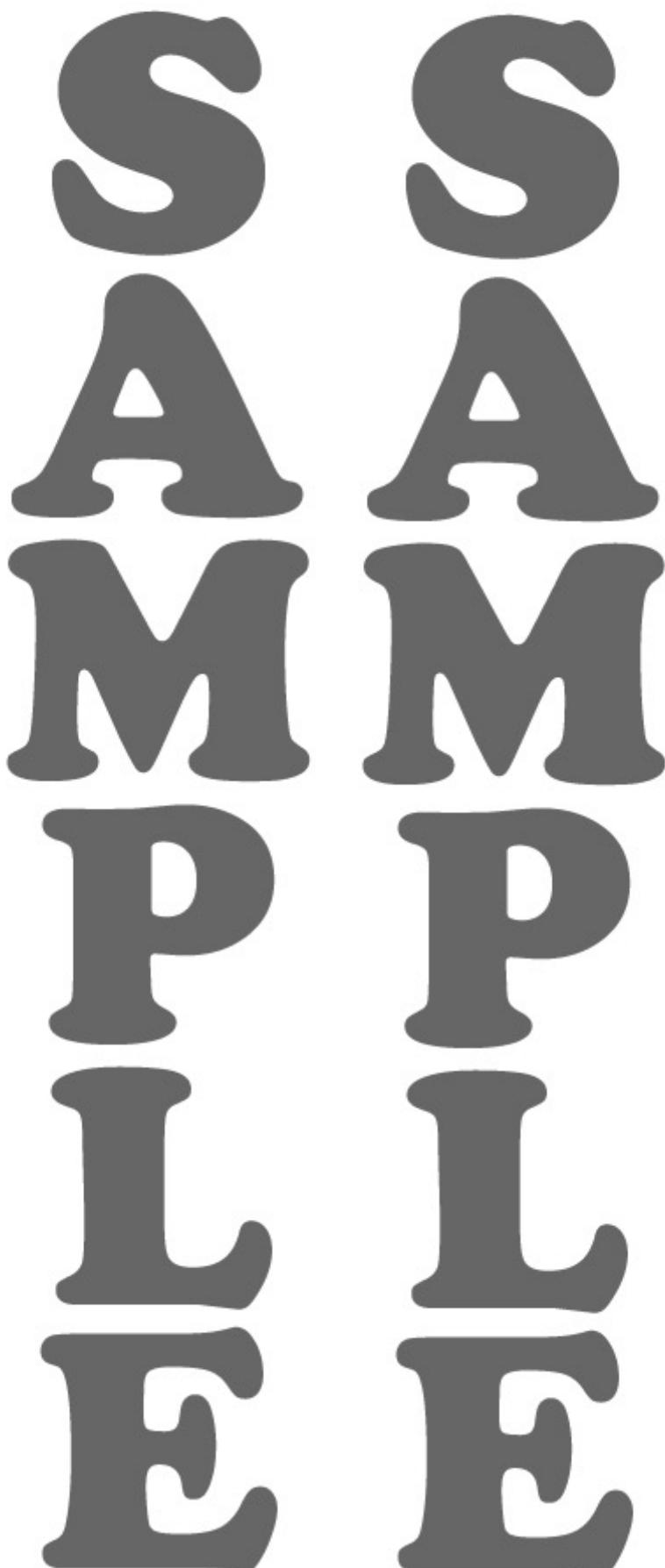
②楽譜、楽器を持っているか確認してください
くのもよいでしょう。楽器も、ステージ上に

③立ち位置、演奏バランスの確認は、ステージ

●リハーサル後

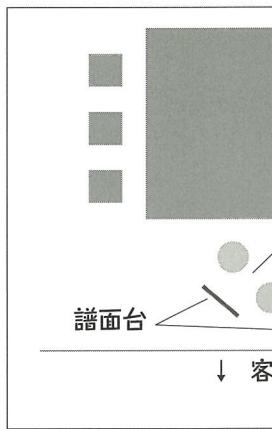
①演奏後、ステージから下がったときに“魔法

②リハーサルが終わったら、全行程の7割は終
きつとうまくいきます。



☆ 発表会までに準備しておくもの

●配置図



●スタッフ用タイム・スケジュール一覧

P.53 参照

S S
A A
M M
P P
L L
E E

発表会

発表会でアンサンブルを取り入れる—魁
ぜひ実行していただきたいものです。さ
を設けることを提案します。

たとえば“ロシア音楽”を特集し、チャ
ンソン「コロブチカ」や「黒い瞳」なども選
曲について調べてもらいます。

「コロブチカ」について調べてみる

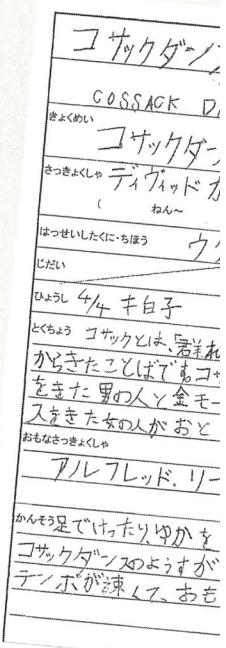
この曲は、ある詩に曲がつけられ、瞬く
クダンス、最近ではゲーム「テトリス
チカ」は行商人の背負う箱、カローブ

他の曲も、このように背景などを調べて
への思い入れがより深くなります。

または“世界の民謡”というテーマもおも
「コロブチカ」はロシア民謡、そのほか
本民謡などを選曲。民謡に使われている
調べてみるのもよいでしょう。

調べた事柄は、小冊子にまとめて、みん
です。

小冊子の見本



S S
A A
M M
P P
L L
E E

■初級(幼児~小学生対象)

みんな

アンサンブル

ピアノ教室の発表会にピッタリ! ピアノ

みんなの発表会

こどものうた・アンサンブル!



【曲目】勇気100%／アンパンマンのマーチ／鉄腕アトム／おどるポンポコリン／夢をなしてドラえもん／大きな古時計／ビリー／全7曲 パート譜つき

- 商品コード GTP01090642
- 菊倍判72ページ
- JANコード 49-47817-246916
- ISBNコード 978-4-636-90642-4

みんなの発表会

スタジオジブリ・アンサンブル!



【曲目】となりのトトロ／さんぽ／いつも一度でも／ねこバス／君をのせて／崖の上のニヨ／全6曲 パート譜つき

- 商品コード GTP01090641
- 菊倍判72ページ
- JANコード 49-47817-246909
- ISBNコード 978-4-636-90641-7

指導者向け

みんなの発表会 はじめて

ピアノ教室でもアンサンブルができる

発表会や演奏会でアンサンブルを取り入れてみたい指導者必見! ピアノと身近な楽曲に収載されている楽曲を使って、準備・導入から仕上げまで徹底解説。誰もが気にどのような指導をしているの? 「宿題の出し方は?」 「演出はどうしたらよい?」などの

【曲目】ミッキーマウス・マーチ／となりのトトロ／さんぽ／勇気100%／行商人
■商品コード GTP01090644 ■菊倍判64ページ ■JANコード 49-47817-246909

お求めは、全国ヤマハ特約楽器店・書店または弊社オンラインショップまで。
株式会社ヤマハミュージックメディア Tel 171-0033 東京

みんなの発表会 はじめてのアンサンブル

著 者 熊谷麻里／有泉久美子

発行者 須田直治

発行所 株式会社ヤマハミュージックメディア
〒171-0033 東京都豊島区高田3-19-10

本書についてのお問合せは、株式会社ヤマハミュージックメディアまで
Tel. 03-6894

インターネット・ホームページ <http://www.ymm.co.jp>

造本にはじゅうぶん注意しておりますが、万一、落丁・乱丁、不良品がありましたらおとりかえいたします。

2014年8月20日 初版発行

©2014 by YAMAHA MUSIC MEDIA CORPORATION
表紙デザイン・イラスト：仲光温子
製作：株式会社トーオン

S S
A A
M M
P P
L L
E E